

FM815 Radio Sweet  
(FMラジオ・81.5MHzでON AIR!)

蒲生地区まちづくり協議会 情報番組

Happy Gamo

毎月第2土曜日

午前11:00~11:30

2月13日(土)放送予定  
ひだまり部会

■蒲生地区の人口  
(令和3年1月1日現在)  
人口: 14,474人(-13)  
男性: 7,158人(-8)  
女性: 7,316人(-5)  
世帯数: 5,317(-1)  
※( )内は前月比

広報がもう 「このまちで、心豊かに住み続けたい」と 思える まちづくり

# がまチョコ



蒲生地区まちづくり協議会 チョコットニュース <https://www.gamoyume.org>

発行者: 東近江市 蒲生地区まちづくり協議会・広報企画委員会 住所: 東近江市市子川原町461-1 蒲生コミュニティセンター内 TEL / FAX: 0748-55-3030

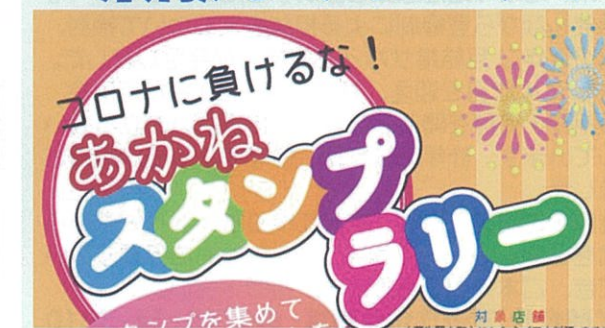
## コロナに負けるな! 地域に元気を...

新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の皆さんが楽しみにされていた「あかね夏祭り」「いきいきあかねフェア」等のイベントが中止となりましたが、地域に元気を...と、形を変えて新たな取り組み、冬の花火と飲食店をめぐるスタンプラリーを計画しました。



12月26日(土)午後7時から、90発打上げ  
\*HPより動画も見られます!  
【コロナに負けるな! 花火で元気の会】

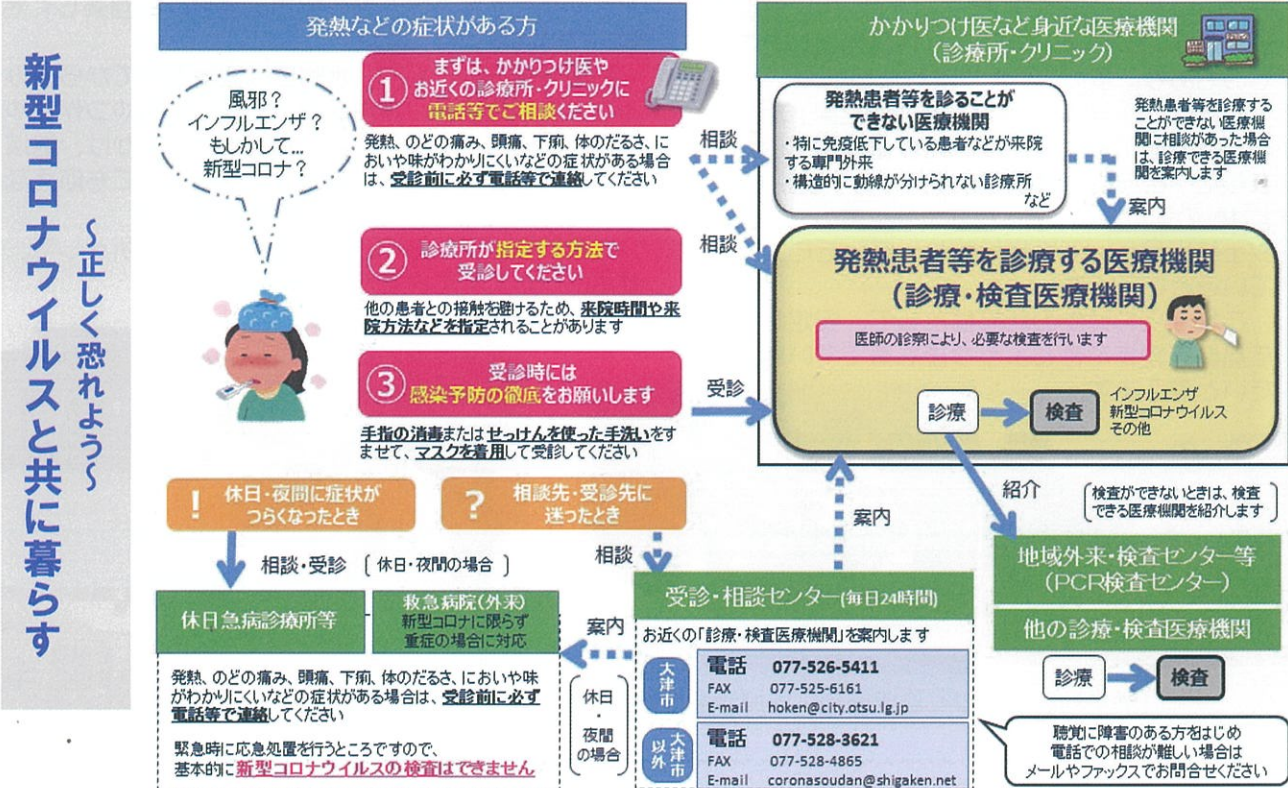
## スタンプラリーで 素敵なプレゼント



開催期間  
令和3年1月11日(月・祝) ~ 3月28日(日)

蒲生地区内の対象店舗(17店)で飲食し、スタンプ3個集めて、抽選で素敵なプレゼントをゲットしよう!  
詳しくは、チラシ(JA滋賀蒲生町、蒲生コミュニティセンター、蒲生支所に設置)やまち協HPをご覧ください、多くの方の参加をお願いします。  
【コロナに負けるな! あかねスタンプラリーの会】

### 発熱などの症状がある場合の相談・受診について



### わいが屋@せせらぎで楽しいひと時を♪

気軽に立ち寄り、ワイワイガヤガヤ思い思いに過ごせる“みんなの拠り所”『わいが屋@せせらぎ』をプレオープンしました! 蒲生地区のみなさんの「できる」や「得意」を活かした楽しい企画を考えています。どなたも参加いただけます。是非お立ち寄りください。

- 2/19(金) 10:00~11:30 おもちゃ図書館 コーヒー100円  
13:30~15:00 ニュースポーツで楽しく身体を動かそう!
  - 3/19(金) 10:00~11:30 おもちゃ図書館&「そらまめさんによる読み語り」  
13:30~15:00 がもう組によるコンサート♪
- 場所 東近江市社会福祉協議会蒲生事務所せせらぎ  
東近江市市子川原町676番地1  
電話 0748-55-4895 IP 050-5802-2528

### あかねっこ子育て情報

赤ちゃん広場  
1才未満の赤ちゃん和妈妈が集う広場を開設しています。身長・体重の計測、日々の困りごとなどを助産師・保育士に相談できます。毎回たくさんの親子が参加して下さいます。検温の上マスク着用でお越しください。お待ちしております。

日時: 2月12日(金)(助産師)・3月12日(金)  
時間: 10:00~11:30  
場所: 蒲生支所3階(つどいの広場)  
対象: 1歳未満の赤ちゃん(兄弟の同伴可)  
※時間内に来て頂ければ計測します。  
お問い合わせは...  
蒲生子育て支援センター 0748-55-4889



[HPのQRコードです]

「がまチョコ」に皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。  
Eメール: [gamomachikyo@e-omi.ne.jp](mailto:gamomachikyo@e-omi.ne.jp) FAX: 0748-55-3030

蒲生まち協会員は、蒲生地区に住んでいる一人ひとりが会員です。

### 令和2年度 自治会支援活動 防災・支え合い研修会

新型コロナウイルス感染症の拡大により、自治会活動は、大きく変化しました。まちづくり協議会では自然災害の一つととらえ、「コロナ禍での自治会活動を考える!」研修会を12月11日に開催しました。

最初に、甲賀市大原自治振興会より「クラスターが発生した地域で自治組織が行ったこと」の報告では、地域全世帯が皆で考え、支え合い・思いやりの気持ちで、各種の情報発信、偏見や差別をなくすポスター作成、感染した施設への協力などに取組まれた様子をお話いただきました。

次に、蒲生地区で「コロナ禍での支え合い活動」を実践されている、大塚町と石塔一区より報告をいただきました。チラシや防災無線を使って地域の皆さんに情報発信、呼びかけなどを行い、「お互いに見守りあい」を大切に活動されている様子を聞かせていただきました。

最後に、(株)農楽 西村氏よりの「コロナ禍における自治会活動の再開に向けて」では、これからの自治会運営を考える視点として、時間の使い方(これまでどおりの行事でなく、住民のニーズに合わせた事業への変化、組織の棚卸し、話し合いの場づくりなど)を変え、苦しくても未来のために「地域みがき」を!と結ばれた。【蒲生地区まちづくり協議会】







東近江市が誕生して 10 年目を迎えた平成 26 年夏、前向井会長は市内で共通する課題に取り組んでみようとして「婚活支援」を提案され、市内各まちづくり協議会から委員が選出され、合同事業実行委員会が発足。以来、地域の婚活意識を醸成するため、セミナー等を開催しながら登録制による相談事業について検討、平成 29 年 3 月結婚サポート連絡会が発足しました。今年で 4 年目を迎え、サポーター 20 名が定例会、出張相談・受付を開催しながら、お見合いの立ち会いをしています。昨年度は 5 組、今年度は 3 組が結婚されました。

登録をご希望の方は、東近江市のホームページから様式をダウンロード（蒲生コミセンにもあります）いただき、ご本人が企画課までご持参下さい。

（問合せ）東近江市企画課 ☎0748-24-5610



## 伝承館企画展

### ガリ版道具勢揃い！

今年で 16 回目となるガリ版伝承館企画展 2020 「ガリ版の道具たち展」が、11 月 7 日～12 月 6 日まで開催され、コロナ禍で少なかったものの約 500 名(市内約 300 名、他約 200 名)を超す方が入館されました。今回の企画展は、(一社)がもう夢工房、蒲生コミュニティセンター、新ガリ版ネットワークが初めて共催で開催しました。

展示物は、40 年にわたりガリ版文化を研究されてきた志村章子氏(川崎市在住)より、昨年 7 月に多くの研究資料や器材等を寄贈いただいたことから、この資料を中心に館蔵品を含め約 350 点展示しました。館全体に、印刷機・ろう原紙・ヤスリ・鉄筆・インクをはじめ印刷物や孔版画も展示し、体験コーナーも設置しました。日本最大で唯一の謄写版や毛筆用謄写版、エジソンのミメオグラフ、NHK などの台本用原紙、いわて新聞(戦艦いわてで出されていた新聞)など希少価値の高い資料もありました。また、土蔵から見つかった昭和 12 年当時の堀井謄写堂製原紙 43 種類の中から中国、オーストラリア、アメリカ向けの原紙などの展示もあり、入館者から「ガリ版道具のうつりかわりや使い方がわかった」「50 年前にはいろんな印刷に使われていたのがよくわかった」と好評でした。この他に中級・上級向けのガリ版講座(1 泊 2 日)も初めて開催されました。



### 大型(金属性)資源回収

12 月 12 日(土)に、大型(金属性)資源回収を行いました。この事業は、平成 22 年から東近江市の委託を受け、11 年目となります。今年も、軽トラックや乗用車で、不用となった自転車や農機具、鉄くず等が集まりました。今年度の搬入件数は 177 件、約 10 t の回収となりました。ご協力有り難うございました。



【蒲生地区まちづくり協議会】

## ～ 一斉にみかん収穫 ～

2018 年 3 月に木村町地先の市有地に植栽した柿、みかん各 30 数本のうち、みかんについてこのほど、収穫作業を行ないました。地域活性化部員と運営委員合わせて約 20 名ほどで取り組みました。

植栽してから 3 年弱、まだまだ樹木を大きく育てる方が大切で、県の農産普及課の北野氏からも指導を受けています。夏頃に一斉に実をつけますが、半分以上は摘果(実を落とす)しました。結果的には見落としたものもあり、多くの果実が実りました。

収穫は 10 分ほどで終わり、「津之望」が約 500 個、「みはや」が約 400 個収穫できました。どちらも濃厚な味が楽しめます。

JA の旬菜館さくら、がもう夢工房のマルシェに出品し、お客様に味わっていただいているところです。

これからの蒲生の新品種として、安定した品質を維持できるよう今後も育てていきたいと考えます。



【蒲生地区まちづくり協議会 地域活性化部会】

## 子ども達の憩いの場

### 蒲生地区障害児童クラブ スマイルクラブ

蒲生地区在住の養護学校や支援学級等に通う子ども達が、家庭や学校だけでなく、地域の中で楽しみにできる場所、地域の方々と一緒に楽しめる場所、子ども達の事を知ってもらえる場所として、地域のボランティアさんや民生委員さんのご協力により、毎回楽しく活動しています。

主な活動内容として、水曜日は宿題をしてから、みんなでおやつの後、自由遊び。土曜日はおやつ作りや工作、季節のイベント、買い物散歩、おでかけ、地域の行事への参加など子ども達のリクエストにも応えながら活動予定を決めています。

これからも子ども達の応援団を増やす場所として、サポートして下さる方々と一緒に、地域の子どもの成長を見守っていきたくと思っています。



## 蒲生の文化財余話 VI 石造層塔〈せきそうそうとう〉(奈良時代～室町時代)

連載・万葉講座  
がもうの話し！

有名な古寺院には木造の層塔(三重・五重)が伽藍配置の中心とされ建立されている。

塔は、仏祖釈迦の火葬骨の舍利(しゃり)を、弟子たちが各々の精舎(しょうじゃ) (寺)の土の中へ納め、その場所にパコダ(塔)を建て聖地としたのが始まりとされ、したがって、塔の下には舍利が埋められているのである。

わが国では、木造の塔もあるが奈良時代から現代にいたるまで石造の層塔(三重・五重・七重・九重・十三重)が建立され、特に平安時代末期から室町時代まで供養塔として多くの層塔が建立された。

蒲生地区では、わが国最古の三重の塔が石塔寺(石塔町)(重文・奈良時代)にあり、古代から多くの文人墨客(ぶんじんぼっかく)が訪れ詩歌会を開くなど近年に至るまで親しまれている。

七重の塔では山部赤人の供養塔と言われる赤人寺(しゃくんにんじ) (下麻生町)(重文・鎌倉時代)、旭野神社(上麻生町)・光明寺(2 基)(蒲生堂町)(いずれも市指定・鎌倉時代)の塔がある。

九重の塔では涌泉寺(ゆうせんじ) (鑄物師町)(重文・鎌倉時代)が存在し石造物の多い地区である。



石塔町 石塔寺 蒲生堂町 光明寺



下麻生町 赤人寺 鑄物師町 涌泉寺